

四街道市 障害者雇用事例集



- 1 中央牧草センター(農作業)
- 2 加藤建設(建設業)
- 3 セリア(販売業)
- 4 イトヨーカドー(販売業)
- 5 株式会社ホエル(販売業(コンビニ))



株式会社 中央牧草センター

所在地(本社)

〒284-0001

四街道市大日2206-1

業務内容 (農作業)

- ・生牧草の生産、加工、製造、卸売・小売事業
- ・旬牧草の生産、加工、製造事業
- ・農地の貸出事業

事業所の概要



中央牧草センター
増田社長

生ビール、生チョコ、生キャラメル等、「生」を売りにする商品が多くある中、四街道市などで生産・販売する、「生牧草」が人気を博しています。購入した動物の飼い主等からは、「食いつきが違う」と、全国から注文が絶えず飼い主に喜ばれています。

生牧草の始まりは創業当時、競走馬に食べさせるものがほとんど米国産の乾燥牧草だったため、「少しでも新鮮でいい物を食べさせたい」と厩務員(きゅうむいん)や馬主らから相談を受けたことがきっかけでした。

昭和51年1月から生産や販売を始め40年以上が過ぎ、生牧草の販路は競走馬にとどまらず、東京・上野動物園のゾウなどにも生牧草は愛されています。全国各地の動物園にも広がりを見せるほか、飼っているペットに健康的なものを食べさせたいという個人の要望も届いています。平成10年からはインターネット通販も導入し、全国からの注文が相次ぎ、年間出荷量は合計で約1460トンにも上ります。農薬や化学肥料を使用しないのは、短期間で結果は出るが、異常気象などに弱く、安全面でも問題があるためです。

1年中出荷を続けるため四街道、千葉、市原、佐倉の4市に畑を分散し、平成27年には北海道でも畑の運営を始めました。畑の面積は出荷に必要な耕作面積の3倍を保有し、どこか1カ所で不作となっても、安定供給を維持しています。

障害者雇用の経緯

特別支援学校中等部を卒業後、親御さんからお子さんの雇用について相談を受けたことがきっかけです。自閉症スペクトラム症の特性のあるお子さんでしたが、以後50歳になるまでの34年間同職場で働きました。その後、グループホームで暮らすことが決まり、退職となりました。

○どのようにして職場に定着しましたか？

職場に定着してもらうために、会社として本人を特別扱いせず、必ず他の社員と同じように接し、分け隔てなく、社内のイベントや行事にも一緒に参加しました。

○どのようにして社員に理解してもらいましたか？

私（代表）は国際空手道円心会館の増田道場師範も務めており、武道の心得に、強い者は弱い者を助けるという教えがあり、社員にも浸透しています。

その他にも本人と話をすることや、人を大事にすること、逆の立場であったらどうかなどを社内で共有しており、自身が生まれ育った薩摩の郷中教育からも影響を受けて社員教育を行っていることが影響してるのではないかと考えています。

仕事のやりがい

「動物たちにとって生牧草が届かない」という状況は死に直結します。何があっても大丈夫な体制を取ることが大切です。そのためには広大な畑が必要になりますが、畑はもともと耕作放棄地だった場所が大半で、そうした荒れた土地を生牧草の生産地として活用することで、地域にも貢献しています。

厩舎に生牧草を届けると、馬たちが前足を搔いて『早く早く』とせかしてまで食べたがってくれるので、動物たちの反応も励みになります。この他にも、「夏バテで食事を取れなかったのに、生牧草なら食べてくれた」などの飼い主の喜びの聲が届くこともあります。

今後の課題と展望

現在、有料で畑の一部を開放し、来場した動物たちへの生牧草食べ放題サービスなどの事業も行っています。全国の草食動物たちが愛する生牧草を届けたいという熱い思いを胸に、こだわりの生産や販売を続けていきます。

農業は生産だけしていれば良い時代ではありません。農業を通して人を笑顔にする『エンターテインメント・アグリ』を考えていき、今後も機会があれば障害者雇用をしていきたいと思っています。



株式会社 加藤建設

所在地（支店）

〒284-0001

四街道市大日1097-7

業務内容（建設業）

- ・土木・建築事業（コンストラクト事業部）
- ・地盤改良事業（ジオテクノロジー事業部）
- ・圧入ケーソン・立抗事業
（アーバンイノベーション事業部）

従業員数

四街道営業所 約50名
内障害者数 1名

事業所の概要



四街道営業所では地盤改良事業（ジオテクノロジー事業部）を主に行い、軟弱な地盤を安定した強い地盤に変える仕事を行っています。また、魅力ある建設業を目指し、環境活動にも力を入れています。

障害者雇用の経緯



障害者雇用促進法が制定され法定雇用率を達成できるよう考え、明朗塾（障害者就業・生活支援センター）に人材の紹介を依頼しました。

トライアル期間を通して、お互いに納得した形で採用するようにしています。

当事者の声・担当者の声

（当事者）

最初は仕事が固定できなくて不安でしたが、自分はどんな仕事ができるかと、色々な仕事に取り組んでいく中で今の仕事に行き着きました。集中してできる今の仕事が自分の特性に上手くはまったと思います。

（担当者）

今年で5年目となり、今後期限の無い雇用契約となります。毎日同じような単調な作業ですが、自ら挨拶をして回るなど本人の努力もあり、他の社員と関係も良好で、職場で活躍しています。

障害のある人の仕事内容



- ・土質検査の準備・型の成型
地面の強度を上げるために必要なセメント量などを割り出すため、機械で計測しやすいよう、必要な機材の掃除や、専用の瓶に土を入れ、成型を行います。



- ・作業に求められる能力等
単調な作業ですが、雑な成型ではしっかりとした数値が計測できないため、几帳面な性格と集中力が求められます。



- ・農業
本社では農業にも取り組み、農場では多くの障害者が働いています。企業内で採れた野菜は、各従業員にも配られ、社員からも喜ばれています。

今後の課題と展望



- 仕事の環境や条件に合う人を採用するよりも、本人に合う仕事を探していった結果が成果を生んでいると思います。
今後も法定雇用率が守れるように取り組んでいきます。



株式会社 セリア

所在地（本社）

〒503-0934

岐阜県大垣市外渕2丁目38番地

業務内容（販売業）

・商品の補充や注文、陳列やレジを含む接客等

従業員数（パート含）

25,412名（内正社員数566名、内障害者雇用数488名）

※今回取材を行った支店：従業員数16名（内障害者雇用数1名）

事業所の概要



100円ショップセリアの運営や、独自ブランドや独自企画の商品などを開発しています。

（営業時間：午前10時から午後8時）

障害者雇用の経緯

セリアでは既に数年間働いており、以前は他店にいましたが、当店には2年ほど前に異動してきました。セリアでは「多様な人材が働ける場として成長の機会となりうるよう環境を整備しながら推進する。」ということを目指し、障害者雇用の目標にしており、当店でもその目標を達成できるよう、また、障害の有無に関わらず、誰でも活躍できるような雰囲気作りを行っています。

当事者の声・担当者の声

（当事者）

学生時代から人間関係が苦手で、人と接することが怖かったのですが、それを克服したいと考え、敢えて接客業に就きました。

現在では楽しく仕事ができおり、同じお店で働く人は優しい人が多く、障害という目で見ないで、普通に接してくれており、わからないことも聞きやすい雰囲気です。

当事者の声・担当者の声

(担当者)

就労当初は本人とどのように関われば良いのか、直接指摘して良いのか、また、他のスタッフからの不安の声や本人にも戸惑いがありました。本人も職場に慣れようと努力し、当店で就労を開始して3～4ヶ月した頃、自分のことを周囲の人に話すようになり、スタッフとの距離も近付き、現在では当店になくてはならない存在として活躍しています。

本人と話をする時間として、3～4ヶ月毎にアセスメントを行い、目標や課題、仕事の振り返りなどを行っています。最近はやりたい仕事が見つかり、できる事が増えています。

障害のある人の仕事内容



勤務：週3日 12時から18時

- ・接客
商品を探しているお客様のご案内
- ・品出し
商品の陳列や、不足している商品の補充
- ・清掃

・当事者が工夫した点

扱う商品が多く、商品の配置等を覚えるのに時間がかかりました。仕事が終わった後に店内を回り、商品がどこにあるか、実際に商品を見て覚えるよう工夫しました。

今後の課題と展望

当事者が仕事をする上で時間がかかりやすい業務や、レジ打ち等の苦手としている業務について、寄り添いながら一緒に取り組み、1人でもできる作業を増やしていきたいと思えます。

障害者雇用については本社の判断次第ですが、誰でも働きやすい雰囲気づくりを引き続き行っていきます。



株式会社 イトヨーカドー

所在地（支店）

〒284-0009

四街道市中央5番地

業務内容（販売業）

- ・商品の補充や注文、陳列やレジを含む接客等

従業員数（四街道店・パート含む）

約400名（内障害者雇用数12名（身体：2名、知的：8名、精神：2名））

事業所の概要



食品、衣料品、生活雑貨、住宅関連商品等、幅広い商品の販売をしています。

四街道店での障がいのある人の雇用率は法定雇用率を大きく上回り、全国のイトヨーカドーの中で、3番目に雇用者数の多い店舗となっています。

障害者雇用の経緯

イトヨーカドーでは、採用の際に、障がい者雇用枠を設けず、全員一律に採用試験し、採用者を決定しています。採用後についても、障がいのある人・ない人で仕事内容を区別していません。障がいのある人が職場に馴染みやすくなるよう、社員（管理職）向けに障がい者雇用に関する研修会を実施し、誰でも働きやすいような環境作りをしています。今回紹介する方は、現在障害福祉サービスの利用はしておらず、イトヨーカドーで29年以上勤務しています。

当事者の声・担当者の声

（当事者）

イトヨーカドーに就職したのは、特別支援学校の先生から紹介されたことがきっかけです。現在の四街道店で3店舗目（店舗の閉店等による）になりますが、環境の変化に馴染めなかったことはありません。業務を覚えることは大変ですが、仕事終わりや買い物の際に店内を歩き、1つ1つの商品の場所を覚えられるよう努力しました。

当事者の声・担当者の声

(担当者)

現在うまくできているのは、本人の努力が大きいと思います。定期的な面談などはしていませんが、いつでも話ができるような雰囲気・環境作りをし、本人と話す機会を多くしています。

社の方針として、社員に対し障害者職業生活相談員や産業カウンセラーなどの資格取得を推奨しており、誰でも働きやすい環境作りに努めています。

障害のある人の仕事内容



・商品の補充と整理

陳列棚を確認しながら、商品の補充や整理を行います。

開業時から就労を継続し、四街道店では勤続18年になります。働く上での心配事は無いと話しています。



・お客様のご案内

商品の補充をしていると、お客様より商品の場所など聞かれることがあり、その商品の場所までご案内します。

お客様の声アンケートに「商品を探すのを一生懸命に手伝ってくれた」とお褒めの言葉をいただきました。



本人の状態に応じて仕事の切り出しなども行っていますが、障がいの有無で仕事は変わらず、他のスタッフと同じように仕事をしています。

今後の課題と展望



イトーヨーカドーにはシスターという働く人々の課題や問題に気づき、改善のサポートをする役職者が全店に117名配置され、業務で困ったことがあればいつでも相談できる体制を取っています。このような活動の1つ1つが、誰でも働きやすい環境の構築に繋がっていますので、今後も誰でも働きやすい環境作りに努めていきたいと思っています。



株式会社 ホエル

所在地（本社）

〒273-0865

船橋市夏見1-13-25

業務内容（販売業）

商品の補充や品出し、陳列やレジを含む接客、商品の紹介チラシの作成等
従業員数（パート含む）

約150名（内障害者雇用数7名）

※今回取材を行った支店：従業員数25名（内障害者雇用数3名）

事業所の概要



セブンイレブン（船橋市内で4店舗・幕張に1店舗）の運営を中心に、ケータリング事業等を実施しています。コンビニエンスストアにおいて、障害のある人の就労訓練や高齢者の有償ボランティア受け入れなども行っています。

障害者雇用の経緯

コンビニエンスストア業界は、アルバイト等が入っても短期間でやめてしまうなど、慢性的な人手不足が課題でした。船橋市の「保健と福祉の総合相談窓口さーくる」から、働きたいけど働けずにいる人がいる現状を教えてもらい、働くことに困難さのある方の就労支援をしたことがきっかけで、現在のような幅広い施設・団体からの受け入れができる体制ができました。

また、障害のある人が働く機会を得られるよう、就労継続支援A型事業所「結ぶ」を開設し、施設外就労先として受け入れを行ったり、地域のクリニックからの見学、特別支援学校生徒の実習の受け入れ等も積極的に行い、働きたいけど働けずにいる人の就労支援をしています。

担当者の声

受け入れ当初は、障害のある人1名に対し社員2名と一緒に仕事をし「どのような仕事ができるのか」を見つけるようにしました。また、「障害のある人を支援してあげる」という姿勢ではなく、本人が店の役に立っているということを感じられるように、選択肢がない状態ではなく、「選択肢を広げていくこと」を大切にしています。

障害のある人も店の一員として働いているので、残業しないと仕事

担当者の声

が終わらないというような時や、フェイスアップ（商品ラベルが見やすいように整頓する作業）のように、売上につながるような業務にも手が回るようになり、全体的なサービスの向上が見られました。

気を付けている点として、受け入れ後、本人と就労支援担当で適宜面談を実施しています。仕事への取組状況については店長と情報共有し、環境改善や業務改善も実施し、働き続けられるよう支援に当たっています。また、障害のある人の対応マニュアルを作成・共有し、店長とシフトリーダーが常に状況を理解し、実行できるようにしています。

最初は出勤できることが大切であり、通常のシフト体制にプラスして障害のあるスタッフを配置する形で仕事を時間を決めています。

障害のある人の仕事内容

コンビニエンスストアという職場には、人目を気にせず行えるバックヤードの業務や、1人で集中して取り組める店内の品出しや清掃、レジ業務まで、様々な業務があります。

仕事内容や仕事時間等に配慮し、半身麻痺や解離性障害等、本人の特性に応じた環境を作るようにしています。

・バックヤードでの仕事の例

飲み物の品出し・季節ごとのピックアップ商品のポップ作成・清掃等

・店舗内での仕事の例

商品の前出し（フェイスアップ）・商品の品出し陳列・レジ・清掃等

・店舗外での仕事の例

自動販売機への商品補充・移動販売等

最初はお客さんと関わらない裏方の仕事や品出しなどを行い、本人の希望を尊重しながら、本人と店長、就労支援担当で相談の上、接客業務やレジなど、できることを増やしていきます。相談を重ねながら行うことで、店が混み合う時間帯などに、スタッフ同士で業務補完しあえる環境となりサービスの向上につながっています。

今後の課題と展望

コンビニエンスストアの様々な仕事の中から自分ができる作業をしてもらうことで、障害のある人も働くことができます。障害や働きにくさを理由に、働く機会の選択肢を狭めずに済むよう、これからも働く機会を生み出していきます。しかし、自社だけでは大勢の人を受け入れることが難しいので、社会の中に働く機会の選択肢が更に増えていくように協力していきたいと思います。

発 行：四街道市障害者自立支援協議会 就労部会

発行日：令和5年7月

更 新：令和5年11月

事務局：相談支援事業所ほほえみ（TEL：043-420-5388）

四街道市障害者支援課（TEL：043-421-6122）